



ループリックとポート フォリオの作り方の ポイント

令和4年度第1回札幌医科大学FDワークショップ
2022年9月6日(火) 17:30~19:00
札幌医科大学教育研究棟2階C201講義室
田中正弘(筑波大学)

本発表の目的

- ルーブリックとポートフォリオは、「互いに組み合わせて使う」のがポイントであることを知る。
 - ◆理由:互いの弱点をカバーできるため



ループリックとは

- 評価水準を示す「**尺度**」と、各段階の尺度を満たした場合の「**特徴の記述**」で構成される、学習を評価する際の基準の様式。
 - どのような内容が習得されていればその尺度に達しているかの判断ができるよう、各尺度の説明は記述形式で表される。そのため、**定量的に表しにくい、パフォーマンスの評価等、定性的なものの評価の際に活用される。**



出典：大学改革支援・学位授与機構（2022）「ループリック」
<https://niadqe.jp/glossary/5392/>（アクセス：2022年7月2日）

ループリックの基本

	尺度4	尺度3	尺度2	尺度1
観点1	特徴の記述4	特徴の記述3	特徴の記述2	特徴の記述1
観点2	～が十分にできる	～がある程度できる	～が少ししかできない	～がほとんどできない
観点3	①②③④ができる	①②③はできるが、④ができない	①②はできるが、③④ができない	①はできるが、②③④ができない
観点4	<input type="checkbox"/> ～が十分にできる	<input type="checkbox"/> ～がある程度できる	<input type="checkbox"/> ～が少ししかできない	<input type="checkbox"/> ～がほとんどできない
	<input type="checkbox"/> ①②③④ができる	<input type="checkbox"/> ①②③はできるが、④ができない	<input type="checkbox"/> ①②はできるが、③④ができない	<input type="checkbox"/> ①はできるが、②③④ができない

尺度: 優、良、可、不可など
 観点: 科目の到達目標など

主語は学生:
 学生は～ができる。

丸囲み式ルーブリック

	尺度4	尺度3	尺度2	尺度1
観点2	～が十分にできる	～がある程度できる	～が少ししかできない	～がほとんどできない
観点3	①②③④ができる	①②③はできるが、④ができない	①②はできるが、③④ができない	①はできるが、②③④ができない

丸囲み式の利点：瞬時に評価できる。

丸囲み式の欠点：評価が粗くなる。



実技の評価に向く

チェック式ルーブリック

	尺度4	尺度3	尺度2	尺度1
観点4	<input type="checkbox"/> ～が十分にできる	<input checked="" type="checkbox"/> ～がある程度できる	<input type="checkbox"/> ～が少ししかできない	<input type="checkbox"/> ～がほとんどできない
	<input type="checkbox"/> ①②③④ができる	<input type="checkbox"/> ①②③はできるが、④ができない	<input checked="" type="checkbox"/> ①②はできるが、③④ができない	<input type="checkbox"/> ①はできるが、②③④ができない

チェック式の利点: 細かく評価できる

チェック式の欠点: 評価に時間がかかる。



振り返りの評価に向く

フィードバックへの活用

- 丸囲みを工夫（二重にするなど）して、学生にメッセージを送る（フィードバックする）。

プレゼンテーション用ルーブリック					
学生氏名 (スタンレー・リビングストン) テーマ (広告キャンペーン)					
	プロ級	合格	要改善	不合格	成績
内容	プレゼンテーションやその後の質問に対する回答は十分な（必要とされる以上の）内容理解に基づいている。	材料をしっかりまとめたプレゼンテーションで、すべての質問に的確に回答できるが、詳細にというわけではない。	情報を十分に理解しておらず、初歩段階のプレゼンテーションおよび質問への回答となった。	情報が理解できていない。なかには誤解もある。また、質問に正確に答えられない。	B+
構成	情報は論理的かつ興味を引く順序で提示され、聴衆は内容を容易に通ることができる。	情報は論理的な順序で提示され、聴衆は内容を容易に通ることができる。しかし、少し退屈である。	プレゼンテーションには大きな飛躍があり、内容を通るのは不可能ではないにせよ、困難である。	論理的な順序で組み立てられたプレゼンテーションではないので、聴衆はその内容を理解できない。	C
図表等	図表等は発表内容の説明に役立ち効果的である。	図表等は発表内容と関連している。	図表等は非常に少ない。あるいは発表内容との関連が薄い。	図表等は使われない。あるいは過剰である。	B
英語	綴りや文法上の誤りがない。	綴りや文法上の誤りは2個以内である。	綴りや文法上の誤りが3個ある。	綴りや文法上の誤りが4個以上ある。	A
話し方	明瞭で、正確かつ的確な話し方である。声量は大きく、楽に聞き取れる。容易に理解できる速さである。	はっきりと話し、ほとんどの語句の発音は正確である。声量は大きく、楽に聞き取れる。容易に理解できる速さである。	話し方が不明瞭である。主要な語句の発音が間違っていることが多い。声 <small>が小さい</small> 、あるいは速すぎて容易に理解できない。	口ごもった話し方をする。大半の主要な語句の発音を間違える。声 <small>が小さく</small> 、あるいは速すぎるため全く理解できない。	C
アイコンタクト	常にアイコンタクトがある。原稿を見ることは全くないか、最小限である。	アイコンタクトは持続的に行われるが、原稿を見るが多すぎる。	ときにはアイコンタクトがあるが、たいていは原稿を読んでいる。	アイコンタクトはなく、ずっと原稿を読んでいる。	B-

出典：スティーブンス・D、レビ・A (2014)『大学教員のためのルーブリック評価入門』玉川大学出版部、68頁。



ポートフォリオの定義 (医学教育情報館)

- 学習者の成果や省察の記録、指導者の指導と評価の記録などをファイルなどに蓄積・整理するもの
 - ポートフォリオは基本的に**学習のためのツール**であり、評価が学習者と指導者、あるいは同僚間のやり取りを通じて継続的になされていく。学習者は、自らの臨床経験を学びに変えていく際に、具体的事例に関して、より一般化された理論や教訓と行き来しながら理解を深めていく。その理解の深化プロセスにおいて、自らと、あるいは同僚や指導者との対話を言語化したものがポートフォリオである。

形成的評価の
ツール

出典:医学教育情報館 (2022)「ポートフォリオ」<http://www.meal-jsme.jp/glossary/index.php/ポートフォリオ>, (アクセス:2022年6月28日)



ポートフォリオの基本

	評価の時期1		評価の時期2		評価の時期3	
	結果	理由	結果	理由	結果	理由
評価の観点1	3	3をつけた理由は～です。	4	4に上げた理由は～です。	3	3に下げた理由は～です。

ポートフォリオの利点: 自己評価の理由を記載できる。
ポートフォリオの欠点: 記述に時間がかかる。



ポートフォリオの例

評価項目	評価の観点	評価対象	実習前の自己評価		実習中の自己評価		実習後の自己評価	
			結果	理由	結果	理由	結果	理由
複数患者担当実習	自己目標と学習内容の設定	実習記録(様式3)をもとにした学生の発言						
	実習時の参加姿勢	患者への態度と報告の状況						
	2日目の行動プランの立案	実習指導者への相談状況と実習記録(様式5)						
	実習記録の内容	実習記録(様式4)						
	下記の質問から、二つ選び、回答してください。 どの項目が自分の最も良い成果ですか？それはなぜですか？ どの項目が自分の最も重要な成果ですか？それはなぜですか？ どの項目が自分の最も満足な成果ですか？それはなぜですか？ どの項目が自分の最も不満足な成果ですか？それはなぜですか？ どの項目への取組が自分を最も成長させましたか？それはなぜですか？							

出典: Suskie, Linda (2009) *Assessing Student Learning: A Common Sense Guide*, second edition, San Francisco: Jossey-Bass.

知りたい情報 (1/2)

ルーブリックとポートフォリオを通して、教員が知りたい情報

◆学生の自己評価の結果

◆学生の自己評価の理由

- ▶ 特に、なぜ、この学生はそのような評価が妥当だと考えたのか、**その考えの根拠を知りたい。**

◆学生が成長した (しなかった) 時期やその理由

- ▶ 特に、**いつ、何がきっかけで (障害となって)、成長できた (できなかった) と考えたのかを知りたい。**



知りたい情報 (2/2)

ルーブリックやポートフォリオによるフィードバックを通して、学生が知りたい情報

◆教員の評価の結果

◆教員の評価の理由

➢ 特に、なぜ、この教員はそのような評価が妥当だと考えたのか、
その考えの根拠を知りたい。

◆成長するためのコメント

➢ 特に、教員は、いつ、何がきっかけで(障害となって)、学生が成長できる(できない)と考えているのかを知りたい。



まとめ

- ポートフォリオに自己（他己）評価を記述するには、ルーブリックが欠かせない。
 - よって、ルーブリックとポートフォリオは、組み合わせて使う必要がある。
- ただし、**効果的に**組み合わせないともったいない。
 - 教員、学生、双方が知りたい情報を得られるように組み合わせるのがポイント！！！！



ご清聴、ありがとうございました。

